

「新島襄・八重夫妻と交流のあった 北海道の人達」

◇講師 阿部敏夫氏

(元北星学園大学教授)

◇日時 平成25年9月27日(金)

午後2時00分～4時00分

◇会場 かでる2・7ビル5階

520研修室

(札幌市中央区北2条西7丁目)



結婚当時の新島襄と八重 (同志社大学提供)

■要

現在、NHK大河ドラマ「八重の桜」が放映されている。その中心人物として新島八重・襄夫妻が登場している。夫妻と北海道との交流は、新島襄が元治元年(1864)6月、箱館からアメリカへ向けて密出国した時と新島襄・八重夫妻が明治20年(1887)の2ヶ月間函館・札幌に滞在した時、そして書簡を通して関係した人達との交流である。その北海道と新島夫妻との交流の一端を今回探ってみたい。

■講師略歴

1941年(昭和16)栗山町に生れる。

北海道学芸大学卒業。高校教師37年経て、北星学園大学文学部教授

研究分野は北海道民間説話・民俗。

■主な著書

単著 『北海道民間説話<生成>の研究』2012(共同文化社)、編・共著 『北海道義経伝説序説』

2002(響文社)、『現代民俗学の視点 第3巻』1998(朝倉書店)、監修 『語り継ぐ札幌市民100

人の戦争体験上・下巻』2013(札幌市)『写真集 札幌市の昭和』2012(いき出版)他

■受講料 700円(保護協会会員500円)

■申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要 定員90名(定員になり次第締切)

■申込先 北海道文化財保護協会事務局

■電話・FAX 011-271-4220

■Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

■後援 NHK札幌放送局、北海道教育委員会

■主催 北海道文化財保護協会